

次期文化芸術振興計画 骨子（案）

理念：個性豊かな新しい千葉文化の創造

基本目標：個性…伝統的な地域文化や遺産の継承を基本に、千葉らしさという文化的個性の形成をめざす。
世界性…東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に千葉文化を発信する。
市民主体…市民主体を基本に、企業や教育機関等と行政が協働して新しい千葉文化の振興をめざす。

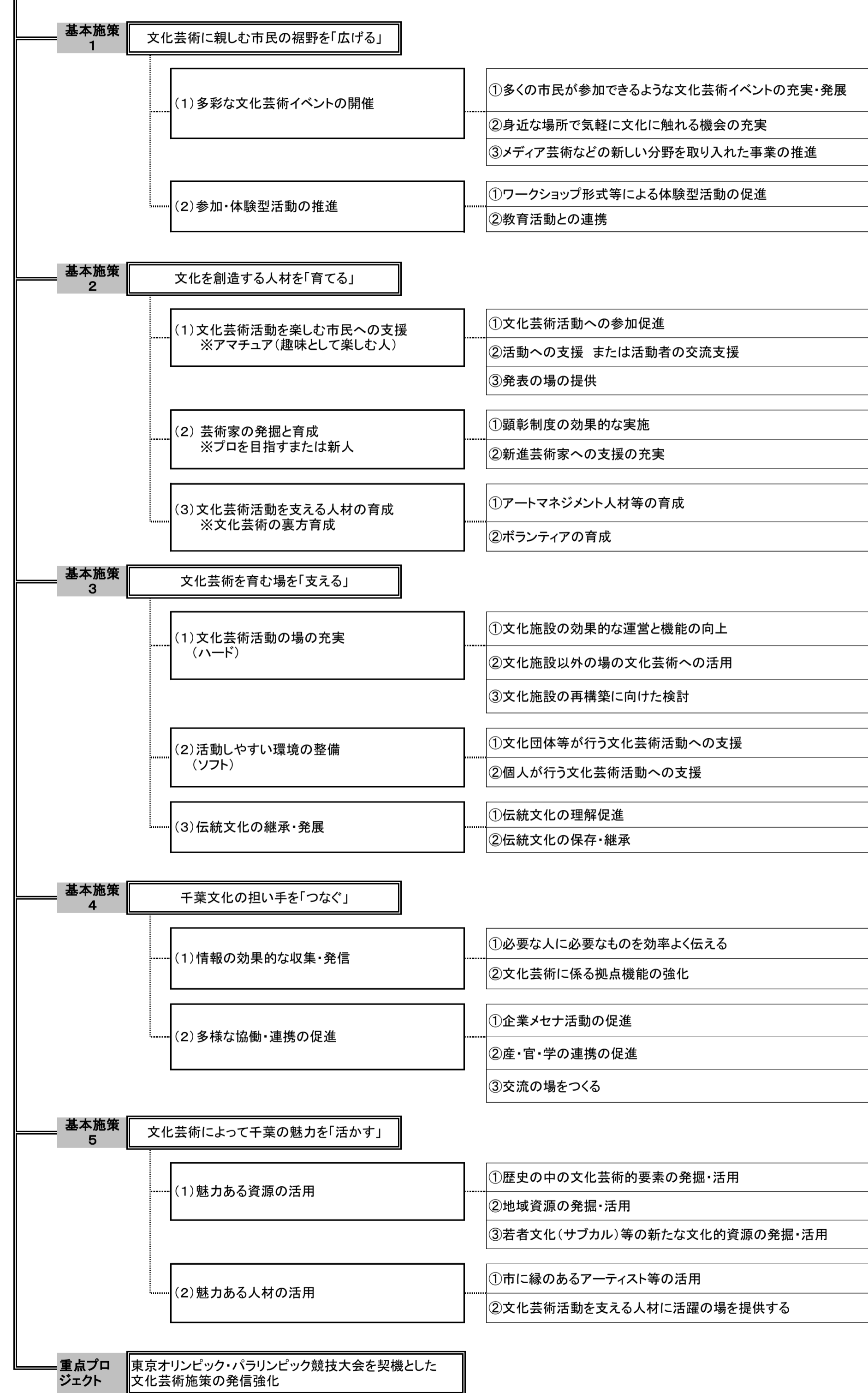
次期計画における重点目標：

(1)市民主体

「広げる」「育てる」「支える」「つなぐ」「活かす」をキーワードに千葉文化の基礎を築き、市民主体の文化芸術活動の活性化を図るための循環をつくる。

(2)子ども・若者

次代を担う子どもや若者が文化芸術に親しみ、また創造性を育むような幅広い施策展開を図る。



資料2

アンケートから見える現状と課題の反映

E

若者・子どもの文化芸術体験の充実
※若者・子どもを文化芸術活動に取り込むための取組

A

気軽に文化芸術を楽しむことができる身近な催しの充実

D

歴史の中の文化的要素の発掘・活用、地域資源の発掘・活用

C

必要な人に必要なものを効率よく伝える広報の充実

B

文化芸術体験の共有を基にした交流の場づくり

D

歴史の中の文化的要素の発掘・活用、地域資源の発掘・活用